

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜北特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	283人				

1. 使用状況

寄贈物品名	ロックミシン
使用学年及び人数	高等部作業学習縫製班 22人
使用頻度	週2回程度
使用状況	<p>高等部縫製班の作業学習で週2回1時間程度使用している。</p> <p>縫製班では、主に製品の布端の始末に使用している。操作が簡単なこともあり、多くの生徒が布端の始末を担当することができている。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>高等部縫製班では、トートバックや敷物、名刺入れ袱紗など様々な製品を作成しており作業製品販売会で保護者や地域の方々へ販売している。</p> <p>ロックミシンを使用することで、布端の始末が容易になり多くの生徒がその工程を担当することができ、生徒たちの充実感につながっている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>ロックミシンを活用することで、布端の始末が難しい製品に挑戦することができるようになったため、生徒が新製品の開発に積極的に関わられるようになっていきたい。しかし、まだ使いこなせていない機能もあるため、更なる教材研究を重ねる必要があると考えている。</p>
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



ロックミシンを活用することで、
布端の始末が容易になりました。

トートバック



ロックミシンのおかげで、一つ一つの製品の質が
向上しました。

